

愛知県経済の現状と見通し<2013年10月>

1. 総括判断

景気の現状	景気は回復に向けた動き	基調判断の 前月との 比較(注1)	➡	水準 評価 (注2)	☀️ ☁️
当面の見通し	回復に向けた動きが持続する見通し		➡		☀️ ☁️

2. 個別項目の動向

個人消費	基調判断	一部に回復に向けた動き			図表1	名古屋市・百貨店販売額<前年比>	
	基調判断の 前月との 比較	➡	水準 評価	☁️	<p style="text-align: center;">(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」 (年/月)</p> <p style="background-color: yellow; padding: 5px;">◆8月 名古屋市・百貨店販売額 284億円 前年比+9.1% (2か月ぶりの増加) ・うち衣料品 前年比+6.6% (2か月ぶりの増加)</p>		
<p>◀️現状▶️</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、8月の名古屋市内百貨店販売額は前年比+9.1%と2か月ぶりの増加。 ○品目別にみると、消費マインドの改善により貴金属、宝石、腕時計などの高級品が牽引する形でその他商品(前年比+17.7%)が依然として好調なことに加え、主力の衣料品(同+6.6%)も2か月ぶりに増加。 ○一方、9月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、37,150台・前年比+21.6%と5か月ぶりの前年比プラス。 ○車種別にみると、軽乗用車(前年比+34.6%)、普通車(同+17.2%)、小型車(同+16.7%)ともに前年比プラス。 <p>◀️見通し▶️</p> <ul style="list-style-type: none"> ○百貨店では引き続き高額商品の売れ行きが好調に推移するなど消費者マインド改善の動きが続く状況。もともと、10月入り以降も大型の台風等による天候不順が続き、小売、レジャー等の動きに影響を与えている模様。 ○乗用車については、昨年のエコカー補助金等の影響が前年比ベースでなくなりプラス転換。今後、消費税率引き上げ前の購入需要や新型車投入効果などから、販売は堅調に推移する見通し。 							<p style="background-color: #90EE90;">図表2</p>
<p style="text-align: center;">(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」、 (年/月)</p> <p style="background-color: yellow; padding: 5px;">◆9月 新車乗用車販売台数<含む軽> 37,150台 前年比+21.6% (5か月ぶりの増加)</p>					<p style="text-align: center;">(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」、 (年/月)</p>		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗️: 上方修正、➡️: 据え置き、↘️: 下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️: 晴、☀️☁️: 晴～曇、☁️: 曇、☁️☔️: 曇～雨、☔️: 雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️
	<p>＜現状＞ ○8月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.36倍と6か月連続で上昇。もっとも、新規求人倍率(同)は1.99倍と3か月ぶりに低下。 ○愛知県の有効・新規求人倍率はともに全国レベルでも高い水準で推移。</p> <p>＜見通し＞ ○生産活動が徐々に回復に向かうなかで、製造業における求人も回復が期待される状況。</p>			

図表3 有効・新規求人倍率＜季節調整値＞

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

◆8月 求人倍率＜季節調整値＞

- 有効求人倍率: 1.36倍
前月差+0.01ポイント(6か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 1.99倍
前月差▲0.12ポイント(3か月ぶりの低下)

企 業 活 動	基調判断	一部に回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️
	<p>＜現状＞ ○7月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比+0.7%と2か月ぶりのプラス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同▲1.0%)の減少幅が縮小したため全体でも小幅プラスに転化。 ＜見通し＞ ○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、8月も前年比マイナス。もっとも、自動車販売は持ち直し傾向にあり、生産の基調は引き続き回復傾向。</p>			

図表4 鉱工業生産＜前年比＞

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

◆7月 鉱工業生産

- 前年比+0.7% (2か月ぶりの上昇)
- うち輸送機械 前年比▲1.0% (2か月連続の低下)

輸 出	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☀️ ☁️
	<p>＜現状＞ ○8月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+15.7%と8か月連続の増加。二桁の伸びは5か月連続。 ○仕向地別にみると、中国向け(前年比+27.6%)、西欧向け(同+11.9%)が二桁の伸びとなったほか、殆どの地域で前年比プラス。 ＜見通し＞ ○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(8月:前年比+22.9%)が2か月ぶりのプラス。北米向け、アジア向け、欧州向けの全てが前年比プラスに転化しており、今後も底堅く推移する見通し。</p>			

図表5 名古屋港通関輸出額＜前年比＞

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

◆8月 名古屋港通関輸出額

9,026億円 前年比+15.7% (8か月連続の増加)